

# かもきっず

第1号  
令和3年4月30日  
京都市立上賀茂幼稚園  
園長 下村 貞之

ご入園おめでとうございます。おうちの方も子どもたちもドキドキやわくわくが入り混じったスタートだったと思います。少しでも安心した気持ちで、自分の好きなことを見つけたり、友達や先生と一緒に「遊ぶって楽しい！」と、思ったりできるように支えながら皆さんと一緒に楽しい毎日を過ごしていきたいと思います。

## ばら組

「ダンゴムシがいたよ」「どこどこ？」「この（プランター）下どけてほしい」「いたいた」「あっ、ここはいないわ」「まるまった」…ダンゴムシを見つけてから、様々に言葉を発していました。そんな子どもたちのエピソードです。



### 「ダンゴムシの友達が増えた」

一匹見つかり、Aちゃんの手のひらに乗せ、また一匹見つかってAちゃんの手の上に乗せると、二匹になったダンゴムシをみてAちゃんは、「ダンゴムシの友達が増えた…」と言いました。ダンゴムシは自分たちと同じ感覚でいるのだなと思いました。

「ほら、見て  
ダンゴムシを見つけたよ！」



### 「静かにしたら起きる」

捕まえると丸まってしまうダンゴムシ。手のひらで動いてほしいのに丸まつたままです。「どうしたら起きるかな？」と話すとBちゃんは「静かにたら起きるで」と話すので「ほな、やってみよう」と、そばにいたCちゃんも一緒に静かにしてみました。すると、動き出しました。「あっ、起きた！」静かにしていたら本当に起きたので大成功の喜びと少し驚いた様子の二人でした。

「見せてー！」「何？」「どれ？」



ダンゴムシのお家

### ダンゴムシの住むところ

ダンゴムシと出会った初日。ダンゴムシの絵本を読みました。飼育ケースに入ったダンゴムシの中には、次の日、残念ながら命がなくなっているものもいました。そんなことから、Dちゃんは絵本にかけてあった「水がいる」ということや「土がいる」とかいてあったことを思い、ダンゴムシのことを思いながら気持ちのいい場所を作ろうしていました。Eちゃんも「この大きな葉っぱがいいんじゃない？」と仲間に加わりました。そこで私も、“仲間”になって「葉っぱや石もいってるってかいてあったね」と一緒に作りました。「これで気持ちよく過ごせるかな？」と見守りながら、次の日も次の日もダンゴムシを捕まえ、“ダンゴムシの仲間”が増え続け、今ではダンゴムシが肩を寄せて過ごす様子が見られています。作戦大成功でした！ダンゴムシのことを思った気持ちが素敵でした。



「(ダンゴムシ)ここに  
いるで」